

# 2025（令和7年）年度

## 事業報告書

### 法人の概要

- I. 設置する学校及び所在地（2026年3月31日現在）
- II. 設置する課程・学科・コースの学生数
- III. 教職員数
- IV. 役員等の状況

### 事業の概要

#### 京都YMCA国際福祉専門学校

- I. 2025年度教育概況
- II. 各学科の教育
- III. 進路・就職
- IV. 学生生活支援
- V. その他事業
- VI. 地域協力

#### 舞鶴YMCA国際福祉専門学校

- I. 2025年度教育概況
- II. 各学科の教育
- III. 進路・就職
- IV. 学生生活支援
- V. その他事業
- VI. 地域協力

学校法人京都YMCA学園

# 学校法人京都YMCA学園

## 法人の概要

### I. 設置する学校及び所在地 (2026年3月31日現在)

#### 【専修学校】

- 京都YMCA国際福祉専門学校  
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2番地
- 舞鶴YMCA国際福祉専門学校  
舞鶴市字浜 1546-3

### II. 設置する課程・学科・コースの学生数

#### 1. 京都YMCA国際福祉専門学校

##### (1) 文化教養専門課程

| 学科・コース     | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 総学生数 |
|------------|------|------|------|------|
| 日本語科 2年コース | 45名  | 66名  | 90名  | 81名  |
| 1.5年コース    | 45名  | 40名  | 90名  | 68名  |
| 課程合計       | 90名  | 106名 | 180名 | 149名 |

##### (2) 社会福祉専門課程

| 学科・コース | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 総学生数 |
|--------|------|------|------|------|
| 介護福祉学科 | 40名  | 23名  | 80名  | 41名  |
| 課程合計   | 40名  | 23名  | 80名  | 41名  |

##### (3) 別科社会福祉士科通信課程 \*募集停止

| 学科・コース   | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 総学生数 |
|----------|------|------|------|------|
| 社会福祉士科通信 | 100名 | 0名   | 200名 | 0名   |
| 課程合計     | 100名 | 0名   | 200名 | 0名   |

#### 2. 舞鶴YMCA国際福祉専門学校

##### (1) 商業実務専門課程

| 学科・コース     | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 総学生数 |
|------------|------|------|------|------|
| 国際観光ビジネス学科 | 40名  | 5名   | 80名  | 5名   |
| 課程合計       | 40名  | 5名   | 80名  | 5名   |

##### (2) 社会福祉専門課程

| 学科・コース | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 総学生数 |
|--------|------|------|------|------|
| 介護福祉学科 | 40名  | 12名  | 80名  | 28名  |
| 課程合計   | 40名  | 12名  | 80名  | 28名  |

### III. 教職員数 (延べ人数)

- (1) 文化教養専門課程教員 本科・附帯事業教員数(非常勤含む) 21名
- (2) 社会福祉専門課程教員 本科・附帯事業教員数(非常勤含む) 25名
- (3) 商業実務専門課程教員 本科・附帯事業教員数(非常勤含む) 9名
- (4) 職員 専任職員・契約職員 12名

#### IV. 役員等の状況

【理事】 理事定数 6名

野村 武夫（理事長）・加藤 俊明（代表業務執行理事）・中西 昌哉・森 亮

森田 芳文・高田 敏尚

【監事】 監事定数 2名

松村 康弘・藤田 寿男

【評議員】 評議員定数 8名

阿部 和博・徐 恩熙・奥村 正治・本田 義史・草野 功一・隠塚 功

好崎 志保・阪野 学

### 事業の概要

## 京都YMCA国際福祉専門学校

### I. 2025年度教育概況

グローバル人材養成を基軸においた教育活動を展開して8年目になりました。

日本語科では、留学生の卒業後の進路が、進学から就労傾向へと変わりつつあります。

また、介護福祉学科では、次年度入学生より経過措置の取り扱いが「卒業後5年以内に国家試験に合格すること」が条件となることから、合格に向けてさらなる対策を講じていく必要があります。

### II. 各学科の教育

#### （1）日本語科

春期・秋期に入学生を迎え、10月時点で総学生数が149名となりました。

これまで大多数を占めていた漢字圏の学生の割合が、前年に引き続き減少傾向となりました。今後もこの傾向は継続する兆しが見られます。一方で、非漢字圏の学生は増加しており、漢字圏の学生数の約1.4倍となりました。特に介護分野への就労を目的とした学生は増加傾向にあり、入学生の44名を占めています。加えて、漢字圏の学生においても、進学より就労を希望する傾向にあり、学生の構成比と進路希望の両面において、変化が生じてきています。これらに対応するため、カリキュラムを見直し、漢字圏・非漢字圏の学生がともに学び合える授業内容の充実を図っています。

認定日本語教育機関については、2026年第2回目の申請に向け準備を進めており、科目制度への移行を見据え、授業では5つの言語活動である「聞く」「読む」「話す/やり取り」「話す/発表」「書く」の課題と目標を意識して展開しています。自律的に学び、協働するといった、より実践的な学びの機会の提供をめざしています。

#### （2）介護福祉学科

今年度は日本人高卒生に加え、ネパール・ミャンマー・中国・フィリピン・ベトナムから多くの留学生を迎えました。

多職種のゲストスピーカーを招いての講義をはじめ、福祉用具ショールームの見学、課外授業などの機会も設けました。

卒業後、長期間就労するためには、今後は国家試験の合格が必須となっていきます。

留学生については、さらに両学科が連携し、国家試験合格率向上を視野に日本語能力の底上げを図っていくことが直近の課題です。

また、国家試験に不合格（パート合格含む）となった卒業生のフォローアップのあり方についても検討していく必要があります。

3 月には 18 名の卒業生を福祉人材として地域に送り出すことができました。

介護福祉士国家試験は全員が受験し、8 名が合格しました。（うち留学生 6 名）

### Ⅲ. 進路・就職

#### （１）日本語科

25 名が進学し、8 名が就職しました。

#### （２）介護福祉学科

卒業生 18 名の就職が決定しました。

### Ⅳ. 学生生活支援

#### （１）奨学金制度

日本学生支援機構奨学金及び文部科学省外国人留学生学習奨励費（職業実践専門課程特別枠）は、対象者がいませんでした。

#### （２）介護福祉士等修学資金貸付事業の申請

介護福祉士養成施設に在籍する学生を対象とした介護福祉士等修学資金は、2 学年合わせ 35 名に貸付が行われました。

### Ⅴ. その他事業

韓国の大学と連携した短期インターンシッププログラムとして、看護学生 3 名を学園で受け入れました。京都校では 2 か所の福祉施設での現場実習を中心に、福祉用具ショールームの見学などの機会も設けました。

外国人介護人材確保のための京都市外国人介護人材受入支援事業の一環で、今年度も介護職員向けの日本語能力・介護技術研修を受託しました。最終日には受講生が日本語でスピーチを行い、23 名が修了しました。

また、新規プロジェクトとして、介護福祉士国家試験対策研修を受託し、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型で実施しました。24 名の外国人介護職員の方が受講し、1 月の国家試験を受験しました。

附帯事業活動として、英語教育プログラムには、39 名の青少年と 20 名の成人の方々（年度末時点）が英語力向上のために参加されました。

## Ⅵ. 地域協力

全国教職員研修会（日本介護福祉士養成施設協会）が京都でハイフレックス開催され、近畿ブロック委員として教職員が準備段階より携わりました。行政説明・基調講演・介護創造力コンテスト入賞校によるプレゼンテーション・懇親会（情報交換会）・分科会等が2日間に渡り行われました。介護創造力コンテスト（介護過程の展開）にて本校が留学生特別賞（1位）を受賞し、留学生の代表4名が全国の教職員を前にプレゼンテーションを行いました。

第1回きょうと介護技術グランプリ（京都府介護福祉士会）の学生部門に本校留学生2名が参加し、1位を取得しました。

これまでの学習成果を発表し評価されたことで、身につけた知識と技術が社会貢献につながることを実感する機会となりました。

## 舞鶴YMCA国際福祉専門学校

### Ⅰ. 2025年度教育概況

開校11年目を迎え、10期生を送り出しました。介護福祉学科は、看護学校との交流授業（2年目）を行いました。介護職と看護職という異なる立場が連携して取り組む体験授業を通して多職種連携の大切さを学びました。国際観光ビジネス学科は、北部の一流ホテルや旅館での年間4カ月に及ぶ就業実習や、地域の文化歴史を知るフィールドワークを行なうなど、特徴ある授業が展開できました。11月には、市主催の福祉系イベントと兼ねた学園祭を開催し、多くの福祉施設の協力を得て盛大に行うことができました。卒業生全員（16名）が、希望通りに就職することができました。

### Ⅱ. 各学科の教育

#### （1）国際観光ビジネス学科

宿泊観光人材養成スキームにより、4名の留学生（台湾、香港）が入学しました。前期、後期共に府北部の4か所のホテルや旅館に分かれて就業実習を行いました。

#### （2）介護福祉学科

今年度の入学生は12名（全員日本人）でした。実習は予定通り実施しましたが、途中で実習施設の感染症蔓延等により、日程を変更せざるを得なかった学生もいました。介護福祉士国家試験は2年生16名が受験し15名が合格しました。

### Ⅲ. 進路・就職

#### （1）介護福祉学科

卒業生16名の就職が決定しました。

### Ⅳ. 学生生活支援

#### （1）奨学金制度

介護福祉士養成就学資金は23名（京都府北部の自治体就学資金、京都府社会福祉協議会）に貸与されました。日本生命保険協会奨学金は1名に給付されました。

## V. その他事業

韓国の2大学と連携した短期インターンシッププログラムとして、看護学部の学生3名を2か月間（9/1～10/24）、観光系学部の学生2名を4ヶ月間（9/1～12/23）受け入れました。日本語の授業や日本文化歴史に関するフィールドワークをはじめ、看護学生へは、病院等見学、地元看護系高校との合同授業、観光系の学生へはホテル概論や観光系の授業、ホテルでの2ヶ月間の現場実習など、盛りだくさんの内容で研修をしていただきました。

舞鶴市主催の観光講座事業を運営受託しました。今年度は、各分野の専門家やオタク（スペシャリスト）が独自の視点でガイドを務める少人数制のまち歩きツアーを展開する「まいまいツアー」事務局の方を講師として迎えました。講演では、事業の誕生から、ガイド人材の発掘についてや今後の展望に至るまで、ツアー事業を運営する視点で話され、ツアーの作り方などまいまいツアー独自の観点やコンセプトを知ることを通して、参加者それぞれが考える時間を与えられました。参加者数は10名でした。

海外からのシニア世代に向けたコンセプトツアーを企画し、9月1日～14日で開催しました。台湾から50代～70代のシニア18名を迎えて京都市内を中心に体験型観光プログラムを行いました。

## VI. 地域協力

舞鶴赤レンガハーフマラソンボランティアとして、本校1年生と韓国からの短期留学生が参加しました。また、12月には北京都フロンティアワイズメンズクラブと共催でYMCA学童野球大会を開催し、多くの子どもたちが参加しました。

以上